



PROGRAM NOTE

2016年9月

カナダ国際放送の貴公子 重松 彬さんを偲んで 尾崎一夫

ラジオ・カナダ・インターナショナルの重松彬さんの一周忌には特別番組「重松メモリアル」を二週にわたって放送し、生前の重松さんの活躍ぶりを偲んでいただきました。ここにリスナーの皆様から提供いただいた資料をもとに重松さんの略歴をあらためてご紹介させていただきます。

重松彬さんは、1931年、昭和6年、鹿児島県の武士、儒学者の家系に生まれました。慶応大学を卒業すると、サラリーマン生活に入り、1961年。美子さんと結婚。1968年。イギリスのBBC放送局で働くチャンスを得て渡英します。1974年までBBCで働いたあと家族とともにカナダ・バンクーバーに移住され、カナダでは、とくに経済問題に関する日本語の情報紙を発行していましたが、1983年からはラジオ・カナダ・インターナショナルで日本語番組の制作に従事しました。1988年にはカナダ放送協会を引退されましたが、NHKにはラジオ海外レポーターとして電話出演されていました。2010年頃から視力が次第に弱われ自宅で療養されておられましたが、やさしい家族に囲まれて充実した余生を過ごされました。

重松さんが1968年から1974年まで勤められたイギリスBBC日本語課における当時の様子が書かれた文書が見つかりました。それによりますと、重松さんは、持ち前の語学力と洗練された文章力を武器に、イギリスにおいても敏腕のジャーナリストとして、取材は「正確」を旨とし、インタビューなどは「時間厳守」をモットーに実績をあげた勤勉実直な人材だったと書かれています。

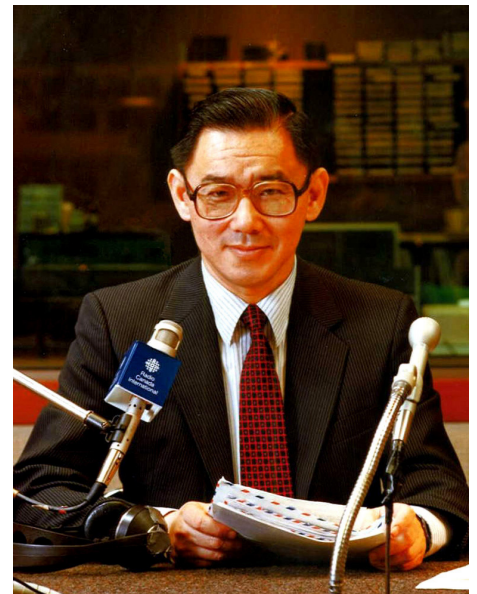
私自身、重松さんと直接お会いしたのは、1985年8月、アメリカとカナダの国境沿いにあるパイブル・キャンプでした。長男のケンさんもいっしょで重松さんもクリスチャンだということで、HCJBの集会で紹介してもらいました。私たちは日本に一時帰国する途中だったので、そのあとバンクーバーに寄らせてもらい、カナダ国際放送局にも表敬訪問させていただきました。

2010年頃から重松さんの視力が急に弱くなり字を読むことが困難になられたときには、リスナーの有志の発案でお見舞いとして「声のレター」を送らせてもらいました。重松さんは大変よろこばれ、そのお返しに私のところにカナダ産の干し鮭がとどきました。本当にどこまでも紳士的で礼儀正しい方でした。

重松彬さんは2015年9月18日、バンクーバーの自宅で、愛する家族に見守られながら、安らかに息を引き取られました。家族に語った最後の言葉は「I am happy」でした。「私には、とても幸せな一生だったよ」という感謝の言葉でした。地上での務めを果たして旅立った重松さんには、これからの時代をさらに幸せにする国際的な大家族が残されたのです。

重松彬さん略歴

- 1931年 鹿児島県で、武士、儒学者の家系に生を受ける
- 1968年 渡英、BBCでラジオジャーナリストとして活躍
- 1974年 カナダ・バンクーバーに移住。12年間わたりカナダの経済事情を紹介するニュースレター「S&Sプレス」を日本語で発行。16年間は、CBC（ラジオ・カナダ・インターナショナル）でプロデューサー兼アナウンサーとして活躍
- 1983年 「Canada This Week」週1回土曜「ラジオたんぱ」から放送開始
- 1989年 CBC・カナダ放送協会を退職。
- 1991年 ラジオ・カナダ・インターナショナル日本語放送終了
- 1999年 NHK「海外レポーター」として電話出演
- 2010年 視力低下を知り重松さんに「リスナーからの声のお便り」
- 2015年 昇天。享年83歳



サタデー・トーク

パイブル・トーク

きき手 尾崎一夫 毎週土曜日放送		淀橋教会 峯野龍弘主管牧師 毎週日曜日放送	
9月03日	南米の巨石文化：イースター島をさぐる！（2）内田 作	9月04日	金の蛙（中米パナマ便り）／聖地ひとり旅（3）
9月10日	重松彬メモリアル（1）貿易会社社長 井上 出	9月11日	金の蛙（中米パナマ便り）／聖地ひとり旅（4）
9月17日	重松彬メモリアル（2）その生涯と業績を偲んで	9月18日	リスナーからの「お便り交換の時間」
9月24日	<私は日本の捕虜でした> デシューザー物語（1）	9月25日	金の蛙（中米パナマ便り）／聖地ひとり旅（5）

放送後の番組は、ホームページ(<http://japanese.reachbeyond.org>)のトップページ左側メニューにある『インターネット放送』のリンクページからお聴きいただけます。（mp3形式）

放送時間：日本時間 午前7時半～8時 17760kHz （再放送） 午後8時～8時30分 15400kHz
（米国アリゾナ州制作／オーストラリア送信）